

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%
保護者様： 17名回答、回答率 89%

職員の意見

○環境・体制整備

事業所の入り口に数段の階段があるが、入・退室時は必ず職員と共に上り下りする体制を取っている。階段の昇降運動が歩行訓練になっている児童もいる。教室内の各コーナーにはクッションガードを装着し、日頃から注意喚起を行っている。職員配置については、法令の定める人員で対応しており、欠員が出た場合等必要に応じて近隣教室と連携を取ることで適正な数を維持している。

○業務改善

役職に応じた社内研修に参加している。PDCAサイクルは日々の教室内ミーティングにおいて情報共有した上で意見を交換し、その日出勤していないスタッフにも次回のミーティングで再度周知に努めている。他教室の業務のやり方を参考にするなど日々改善を図っている。

○適切な支援の提供

個別支援計画の策定会議を行い、各児童の現在、そして今後の課題を明確化した上で、療育活動内容を児童の利用曜日に合わせて組み立てている。日々の共有として昼と夜のミーティングで情報共有も行っている。

療育内容についてスマートキッズ他教室の活動を参考にしている。また他教室との合同企画もおこなっている。地域イベントへの参加など外部との関わりを深める活動を検討していく予定である。

○関係機関や保護者との連携

日々のサービス提供記録をより詳しく記入する事で、保護者からのコメントが少しずつではあるが増えてきた。送迎時その日の児童の様子を伝える際、職員とのやり取りを盛り込む事で、教室での様子がよりイメージできるよう努めている。関係機関との連携はクリニックの医師と協議を行って利用者への支援の質の向上に努めている。今後はより密に連携が取れたら良いと考えている。子ども部会等への参加ができる時は積極的に参加させて頂いている。

○保護者への説明責任等

半年に1度の保護者会を開催しているが、工夫、保護者同士のつながりを強化できる企画内容の検討が必要である。教室全体で、保護者との密な共有は根付きつつあるが、話し方や伝え方等の配慮や工夫が更に必要である。

○非常時等の対応

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを十分に周知できていない点もあるので保護者会や面談など教室に立ち寄られる際にお伝えしていくように心がけていく必要がある。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・職員の配置数や専門性は適切であるかに関して、その日に来所した子どもの数、勤務した職員の数が公表されているわけではないので適切かどうか判断できない。

→日々の利用人数に対して法令上に基づいたスタッフ配置をしている。

送迎時にお伝えしていけるように検討する。

・専門性のわからない職員の方もいる。

→保護者会や面談等、お話ができる際に各職員の資格や経歴についてお伝えできるように配慮する。

・物件的に無理だと思うのでしっかり出入り口の階段の所は注意してほしい。

・教室前の階段が気になります。

→スマートキッズ内の設備ではないため手すりの設置は難しいが、送迎時対応者の人数を厚く、荷物や靴紐などの状況把握と危険予知に配慮する。

○適切な支援の提供

・家では出来ない事をたくさんしてもらってありがたいです。

・障害のない子どもと活動する機会が昔より減っている気がする。

・以前は公園で遊んでいる子どもの交流もありましたが今はない気がします。

→土曜日などの課外の際に公共施設でのマナーを学ぶと共に、教室以外の方と接する際、エレベーターで挨拶したり、広場での課外活動の際は地域の子どもたちと関わったりなど機会を設けている。公園に関しては夏の気温の関係上利用できない事が多いため、涼しい時期での利用を来年度も考えている。

○保護者への説明等

・送迎の際、どのように過ごしたか、沢山教えて頂き、親の前では見せない部分を知れて嬉しいです。

・面談や、育児に関する助言等に関して今の責任者の方にはたくさんの助言を頂いて、本当に助かっています。勉強になっており励みにもなっています。

・保護者会の開催のお知らせは二か月前に教えてもらいたい。仕事のシフトを二か月前なら調整可能なので。

・保護者会の出席人数が少ない。

・参加していないのでわからない。

・保護者会の出席率が低くて残念です。多くの方が出席できるよう日程の調節をしてほしいです。

→できるだけ早く保護者会開催のお知らせをさせて頂ければと考えている。日程も2日ほど設定するなど参加できる方を増やせるように今後も工夫していく。

・苦情について、対応の体制などに関して苦情がないのでわかりません。

→重要事項説明書にも記載されておりますが保護者会や面談等、お話をできる際に対応体制についても口頭で再度ご説明できる機会をもてればと考えている。

○非常時等の対応

・なかなか避難訓練の日に参加出来ないのが残念です。

→ニュースレター作成の際に曜日を考慮しながら避難訓練を組み込んでいけるように考慮していく。

○満足度

・子どもは通所を基本的には楽しみにしているが、時々「嫌」という時があります。

→苦手な療育の日であっても教室を利用した帰りに「楽しかった、また来たい。」と思えるような声掛けや関わりが出来るように職員一同精進していく。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

・夏に公園を利用出来ない日が多いので涼しい時期に公園の利用を増やし、地域の方との交流を増やせるように活動を組んでいく。

・保護者会の参加率を上げられるよう曜日設定等を行っていく。

○改善できた点・まだ残る課題

・他教室との連携を行うと共に合同での企画を行う機会が増えた。

・活動や療育を職員間で協議し、より良いものを提供できるようになった。

・ミーティングを一日二回行う事で情報共有を密に行えるようになった。

・学校や関係機関との連携を更に密に行う必要がある。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

・すべての項目において概ね高い評価を頂いており、「満足度」の項目で全ての回答者から好評を頂いている点は自信となった。これに驕ることなく、もっとご満足いただけるように邁進していきたい。

・「適切な支援の提供」「保護者への説明等」の項目では特に高い評価を頂いている。今後も利用者の成長に繋がるような活動内容や関わりを行っていき、送迎時など保護者への情報共有も引き続き行っていく。

○改善点

・保護者会の参加人数増加の取り組み。

・非常時の対応の発信不足。

・療育活動内容から得られた成果や支援内容について、教室全体でもう少しじっくり話し合う時間を設ける必要がある。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者様のニーズや子どもの特性を理解し活動内容をアレンジしていく。
- ・地域とのつながりが強化できる企画を実施する。
- ・相談支援との連携を深め、担当者会議に参加する機会をつくる。
- ・その日の療育活動の目的を職員全員が意識し、支援できる体制を構築する。
- ・ニュースレターの活動報告を充実させる。

○1年間で取り組む具体策

- ・他教室の療育活動を参考に、活動内容のバリエーションを増やす。
- ・個々の児童の成果、支援内容に関する検討の時間を多く設ける。
- ・話し方、伝え方に関する教室内研修を実施する。
- ・研修等に参加し、より障がいについての理解を深める。
- ・保護者会参加者増加のために、あらかじめ参加しやすい曜日を調査すると共に告知を早めに行う。
- ・保護者会や療育参観、送迎時などに非常時対応についてどのようなことを行っているか、避難経路について伝え、理解を深めてもらう。

スマートキッズ